

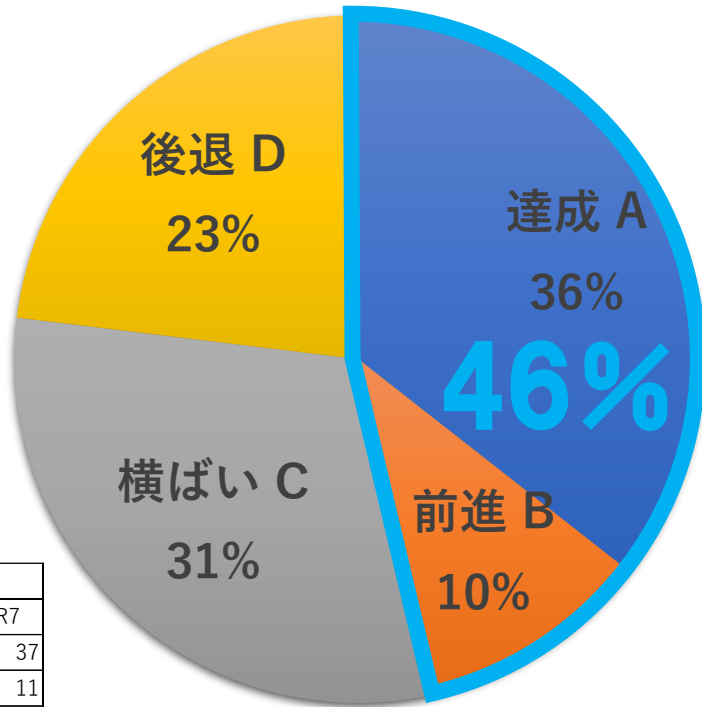
前期計画(令和4年度から令和8年度)の振り返り

資料No.2

社会情勢の変化	・ 人口減少の進行 ・ 「佐渡島の金山」の世界遺産登録 ・ 物価高騰(国際情勢(ロシアのウクライナ侵攻、中東情勢)、円安の進行など) ・ 自然災害の激甚化・頻発化 ・ デジタルテクノロジーの進化
前期計画に掲げた事業の進捗状況	佐渡市総合計画 4年目の進捗状況(KPIの達成状況など)を踏まえた効果検証
地方創生関係交付金の活用状況	以下の交付金について効果検証を行う ○新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金) ➤ 地方版総合戦略(佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略)に基づく事業を支援する交付金 ○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 ➤ エネルギー・食料品価格の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を通じた地方創生を図るための交付金

佐渡市総合計画 4年目の進捗状況

全体



総括：進捗状況は、全体的に横ばいの状態

- 116のKPIのうち実績値が判明した104のKPIにつき評価検証を実施
- KPI全体の進捗状況は、
「達成A」+「前進B」の割合が **46%**（前年度45%）
「横ばいC」+「後退D」の割合が **54%**（前年度55%）
- 令和6年度からの1年間では
「達成A」 **32% ⇒ 36%** に改善したものの
「後退D」 **21% ⇒ 23%** に後退

改善：佐渡産農畜産物販売額、生涯学習事業参加者数など

後退：防災対策に対する満足度、身体活動を1日1時間以上実施する住民の割合など

重点的・横断的な取組 主なKPIの進捗

施策	総合戦略との重複	成果指標	現況値	R 4年度実績	R 5年度実績	R 6年度実績	R 7年度実績	R8目標値	直近1年の変化
子育て支援の推進	○	出生数	R 2 245人	206人	184人	162人	144人	287人	D → D
健康長寿の推進	○	健康長寿（平均自立期間要介護2以上）	R 2 80.3歳	80.1歳	80.5歳	80.9歳	80.6歳	81.0歳	B → C
産業振興の推進		市内総生産額	※ H 30 172,380百万円	157,405百万円	159,203百万円	161,358百万円	169,804百万円	180,000百万円	D → D
移住定住の推進		社会動態における人口移動数	R 2 ▲180人	調査未実施 不明	▲182人	▲293人	▲290人	0人	D → D
地域防災力の向上		自主防災組織訓練の実施率	R 2 7.4%	25.6%	31.2%	32.2%	31.0%	50.0%	C → C
脱炭素社会・資源循環型社会の推進		市内温室効果ガス(CO2)排出量	※ H 30 472千t-CO2	423千t-CO2 ※ R2	404千t-CO2 ※ R3	392千t-CO2 ※ R4	392千t-CO2 ※ R5	384千t-CO2	B → B
自然共生社会・生物多様性保全の推進		主食用水稻作付面積に対する認証米の割合	R 2 19.6%	21.6%	22.7%	21.9%	20.4%	25.0%	C → C

進捗状況

【達成A】実績値が目標値を上回り、達成した状態

【前進B】実績値が目標に向かい、現況値（策定時）から前進※2している状態

【横ばいC】実績値が現況値（策定時）から変動が見られない状態

【後退D】実績値が現況値（策定時）の数値より後退している状態

※1 割合（%）は未確定事業を除く

※2 前進BはR8年度までの改善幅を100%とした場合、R4～R8の5カ年で毎年20%以上の改善を図ることと定義

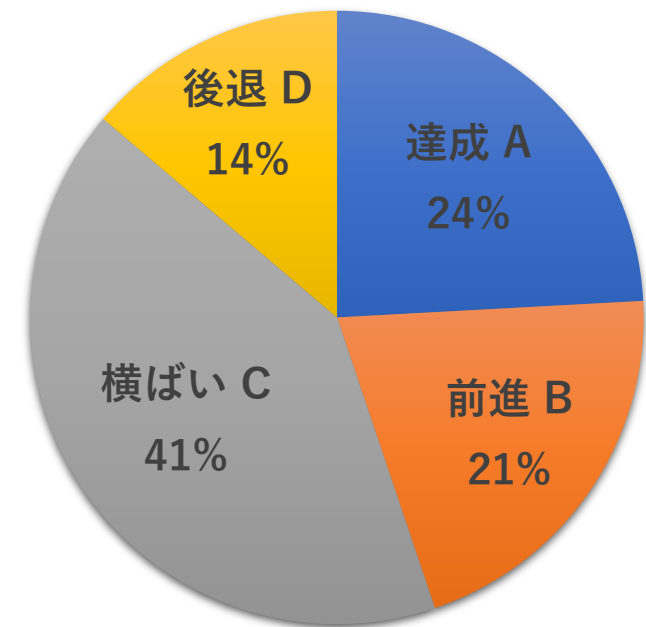
5つの基本目標 KPI進捗状況

将来像 トキの舞う美しい島

基本目標1

豊かな自然と共生した、安全で快適なまちづくり

[防災・防犯、
生活・環境]



区分	件数	
	R6	R7
達成 A	8	7
前進 B	4	6
横ばい C	14	12
後退 D	3	4
合計	29	29

評価D事業に対する分析

1. 防災対策に対する満足度

➤ 防災情報発信や避難所に関して満足度が不足しているといった意見が多かった。

2. 環境アドバイザー登録数

➤ 自然環境分野中心の構成であり、派遣内容も生きもの調査などの分野に偏っている。

施策	施策の展開	総合戦略との重複	成果指標	現況値		R 4 年度実績	R 5 年度実績	R 6 年度実績	R 7 年度実績	R8目標値	評価
2 消防・救急体制の充実	1.消防体制の整備		関係機関との連携訓練実施数（累計）	R 2	12件	41件	54件	73件	92件	60件	A
	2.救急体制の充実	○	人口に対する普通救命講習受講者割合	R 2	17.2%	18.8%	20.1%	21.3%	24.7%	20.0%	A
4 交通体系の充実	1.まちづくりと連携した地域交通ネットワークの構築	○	路線バス利用者数	R 2	354,506人	362,968人	382,610人	401,018人	406,001人	380,000人	A
5 道路施設等の整備	2.道路橋梁の長寿命化	○	橋梁の健全度率	R 2	73.3%	73.7% (+0.2%)	73.8% (+0.1%)	78.3% (+4.5%)	88.0% (9.7%)	75.0%	A
6 上水道施設の整備	2.効率的な水道経営の推進		企業債残高対給水収益比率※	R 2	1,049.5%	1004.9%	995.6%	982.4%	958.0%	1,000.0%	A
7 下水道施設の整備	3.災害に備えた体制整備		マンホールトイレ※システム【下部構造】整備率	R 2	18.4%	49.0%	49.0%	58.3%	100.0%	100%	A
9 自然環境の保全	2.トキとの共生の実現		トキの野生下定着数	R 2	442羽	545羽	532羽	576羽	473羽	トキが過密にならず遺伝的多様性と個体数増加傾向を維持	A
1 防災・減災機能の強化	1.防災意識の向上と防災教育の推進		防災対策に対する満足度	R 2	23.0%	—	—	28.0%	22.0%	50.0%	D
3 交通安全・防犯対策の推進	2.安全安心なまちづくり		佐渡市安全・安心情報メールの登録数	R 2	9,081人	9,487人	9,372人	9,223人	8,973人	11,350人	D
9 自然環境の保全	1.豊かな自然環境の保全と活用		農薬・化学肥料5割減以上の水稻面積の割合	※ R 1	84.1%	84.8%	90.2%	84.3%	83.9%	88.0%	D
	3.佐渡の環境を考え実行できる環境市民の育成		環境アドバイザー登録数	R 2	38人	34人	31人	31人	28人	60人	D

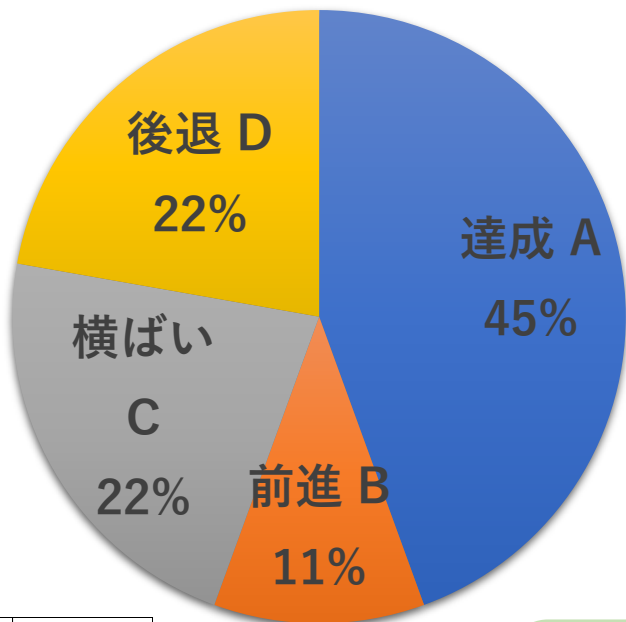
5つの基本目標 KPI進捗状況

将来像 笑顔と長寿の明るい島

基本目標2

一人ひとりが活躍し、
いきいきと暮らせるまちづくり

〔医療・介護・福祉〕



施策	施策の展開	総合戦略との重複	成果指標	現況値		R 4 年度実績	R 5 年度実績	R 6 年度実績	R 7 年度実績	R8目標値	評価
1 地域医療の充実	1.医療体制の維持・連携推進	○	さどひまわりネット※加入率	R 2	31.5%	34.2%	35.6%	36.9%	39.0%	35.0%	A
	3.へき地医療の維持		市立病院の巡回診療地区数	R 2	2地区	2 地区	2地区	2地区	2地区	2地区	A
3 高齢者福祉・介護の充実	1.健康づくりと介護予防の推進		要介護認定率（要介護2以上）	R 2	13.9%	11.6%	11.2%	11.0%	11.1%	14.0%	A
	2.高齢者の生きがいある暮らしの推進	○	高齢者実態調査による生きがいがあると回答した高齢者の割合	※ R 1	59.5%	58.0%	-	-	67.5%	65.0%	A
4 子育て支援の充実	1.地域における子育て支援サービスの	○	ファミリーサポートセンター※登録会員数	R 2	121人	176人	196人	182人	194人	140人	A
5 障がい者福祉の充実	3.障がい者が安心して生活できる仕組みづくり		障がい福祉サービス利用に必要な計画作成の支援を受けた人数	R 2	172人	190人	202人	233人	236人	182人	A
6 地域福祉の充実	1.福祉教育の充実		出前塾の受講者数	R 2	388人	320人	318人	467人	640人	450人	A
	2.支え合い意識の高揚・相談支援の充		生活困窮者の新規相談受付件数	R 2	275件	235件	196件	155件	156件	200件	A
2 健康づくりの推進	1.市民協働の取組		健康推進員数	R 2	401人	379人	353人	346人	329人	420人	D
	3.生活習慣病重症化予防		身体活動を1日1時間以上実施する住民の割合	※ R 1	81.0%	76.2%	78.9%	81.3%	74.0% (KDB地域の全体像)	85.0%	D
5 障がい者福祉の充実	1.就労支援への取組の強化	○	福祉施設から一般就労への移行者数	R 2	10人	1人	11人	2人	4人	15人	D
	2.障がいのある人と共に暮らす共生社会の実現		手話通訳者・要約筆記者派遣人数	R 2	52人	61人	80人	64人	50人	55人	D

評価D事業に対する分析

1. 健康推進員数

➤ 人口減少、高齢化、会員数減少に伴い支部間の交流や統廃合を見据える必要がある。

2. 身体活動を1日1時間以上実施する住民の割合

➤ 昨年度より減少した。運動習慣や体を動かす割合が増加するための意識づけを図る取り組みが必要である。

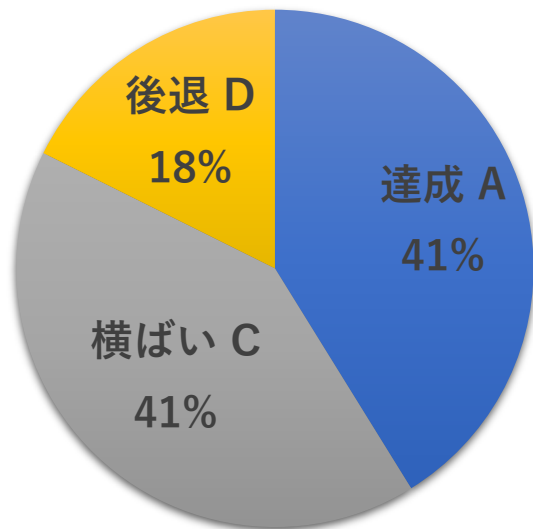
5つの基本目標 KPI進捗状況

将来像 文化の薫るおけさの島

基本目標3

郷土への誇りと未来への希望を
育むまちづくり

[教育・文化]



区分	件数	
	R6	R7
達成 A	4	7
前進 B	2	0
横ばい C	8	7
後退 D	3	3
合計	17	17

施策	施策の展開	総合戦略との関係	成果指標	現況値	R 4 年度実績	R 5 年度実績	R 6 年度実績	R 7 年度実績	R8目標値	評価	
1 子ども教育の推進	2.郷土愛を軸にしたキャリア教育 [※] の推進	○	自己肯定感の肯定的評価率	※ R1	小学校82.6% 中学校71.8%	小学校82.4% 中学校78.8%	小学校87.7% 中学校79.1%	小学校85.6% 中学校79.8%	小90.9% 中83.7%	小学校85.0% 中学校75.0%	A
	3.家庭・地域の教育力の充実		学校運営協議会で話された課題解決に向けた地域学校協働活動の実施率	R 2	28.5%	71.4%	91.4%	87.5%	100%	90.0%	A
3 生涯学習の推進	1.学習機会の充実		生涯学習事業参加者数	R 2	5,387人	12,466人	9,339人	11578人	13,563	13,000人	A
	3.芸術・文化の推進		市展出品点数	R 2	237点	1,047点	1,247点	1124点	1,108点	250点	A
			生涯学習人材バンク登録者数	R 2	16人	28人	28人	28人	55人	50人	A
4 スポーツの推進	1.「育てる」スポーツの推進		親子スポーツ教室参加者数	R 2	113人	983人	979人	1,061人	799人	200人	A
5 文化振興の推進	2.郷土愛の醸成と担い手の育成	○	出前授業、市民講座等の参加者数	R 2	4,190人	6,077人	6,175人	5680人	5,831人	5,300人	A
1 子ども教育の推進	1.学力向上を軸の様々な学力等を育成する教育の推進		標準学力検査NRT※で偏差値50以上の教科の割合	R 2	小学校84.1% 中学校61.5%	小学校70.5% 中学校40.0%	小学校59.0% 中学校33.8%	小学校61.4% 中学校41.5%	小学校54.5% 中学校36.7%	小学校90.0% 中学校80.0%	D
3 生涯学習の推進	2.地域づくりの推進	○	青少年健全育成事業参加者数	R 2	7,580人	7,375人	6,740人	6,045人	6,279	14,000人	D
4 スポーツの推進	2.「健康」スポーツの推進	○	健康・スポーツ教室・ウォーキング教室の参加者数	R 2	1,380人	1,299人	1,450人	1,168人	1,057人	1,800人	D

評価D事業に対する分析

1. 標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合

➤ 市全体の平均偏差値で見ると小学校はR2以降、下降傾向である。中学校はR5以降、上昇傾向にある。

2. 健康・スポーツ教室・ウォーキング教室の参加者数

➤ 参加者実績の少ない教室を一部とりやめたため、参加者は減少したが、1回あたりの参加者は11.2人から13.0人と増加した。

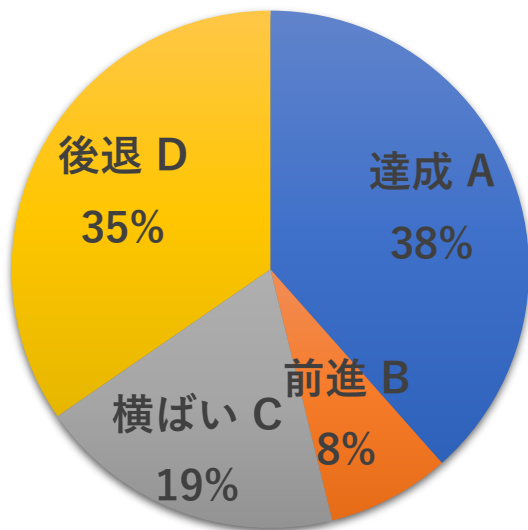
5つの基本目標 KPI進捗状況

将来像 働く汗の光る島

基本目標4

地域の活力と賑わいあふれるまちづくり

[産業振興・雇用]



区分	件数	
	R6	R7
達成 A	9	10
前進 B	3	2
横ばい C	5	5
後退 D	8	9
合計	25	26

評価D事業に対する分析

1. 漁業集落による加工品販売額

- 原料である水産物の不漁に加え、海上の時化が多かったことによる出漁できなかった日が多かったこともあり、加工品販売額は減少した。

2. UIターン者数

- 全国的な人口移動の変化や地方間での移住者獲得競争の影響により、目標値に至らなかった。特に40歳以上のUターン者数が減少している。

施策	施策の展開	総合戦略との重み	成果指標	現況値	R 4 年度実績	R 5 年度実績	R 6 年度実績	R 7 年度実績	R8目標値	評価
1 農業の振興	1.地域の実情に応じた営農体制の確立	○	農業法人数	R2	52経営体	57経営体	58経営体	60経営体	60経営体	A
2 林業の振興	3.佐渡産木材の利用促進		佐渡産建築用木材使用量	R2	110.0㎡	161.5㎡	106㎡	199m3	385.9m3	A
4 商工業の振興	2.企業ブランド力の向上		販売に関する支援件数	R2	23件	40件	55件	46件	73件	A
5 観光の振興	1.観光旅行者の満足度向上に係る環境整備		満足度（大変満足）	R2	29.2%	35.9%	34.0%	41.3%	44.5%	A
	2.消費額向上に係る滞在型観光促進		1人当たりの観光消費額	R2	41,408円	46,322円	51,494円	56,100円	57,200円	A
6 産業連携・販売戦略の推進	3.「佐渡」の特長を活かした佐渡産品のブランド化の推進		佐渡産農畜産物販売額	R2	6,485,774千円	6,717,902千円	6,348,839千円	6,972,762千円	9,591,814千円	A
			海洋深層水養殖施設夏季(7月～9月)水産物出荷量	R2	0kg	504kg	900kg	1,570kg	1,281kg	A
7 雇用機会・就労環境の充実	1.新たな産業の創出		新規起業、企業誘致し雇用した人数	R2	29人	99人	118人	128人	138人	A
8 移住定住の促進	2.空き家活用による定住人口の拡大		お試し住宅利用者による定住者数	R2	利用人数：74人 定住人口：38人	利用人数：116人 定住人口：71人	利用人数：138人 定住人口：78人	利用人数：196人 定住人口：89人	利用人数：275人 定住人口：99人	A
	3.企業誘致による多様な人材と企業が活躍できる仕組みづくり		シェアオフィス等入居企業数	R2	0社	16社	19社	23社	22社	A
1 農業の振興	2.地域の農業を担う多様な担い手の確保	○	新規就農者数	R2	15人	12人	16人	12人	12人	D
2 林業の振興	1.林業の効率化促進	○	素材生産性（1人の生産量）	R2	3.0㎡/人・日	3.8㎡/人	4.7㎡/人	2.5㎡/人	2.5㎡/人	D
	2.森林の多面的機能の保全	○	年間整備面積	R2	43.5ha	48.5ha	29.93ha	27.89ha	35.25ha	D
3 水産業の振興	2.ブランド力と販売力の強化	○	漁業集落による加工品販売額	R2	4,051千円	6,188千円	5,847千円	4,983千円	2,406千円	D
4 商工業の振興	1.円滑な事業承継と経営の安定化		商工会員数	R2	1,733事業者	1,660事業者	1,604事業者	1,562事業者	1,480事業者	D
	3.人材の育成	○	支援事業を活用し資格等を取得した人数	R2	240人	146人	135人	58人	63人	D
6 産業連携・販売戦略の推進	1.高付加価値化及び販路の開拓・販売拡大の推進		認証米取扱米穀店舗数	R2	281店	271店	255店	219店	225店	D
7 雇用機会・就労環境の充実	2.人材の確保及び育成支援	○	若者（40歳未満）のUIターン者数	R2	295人	346人	313人	253人	207人	D
8 移住定住の促進	1.UIターン者の受入れ促進		UIターン者数	R2	504人	600人	572人	445人	382人	D

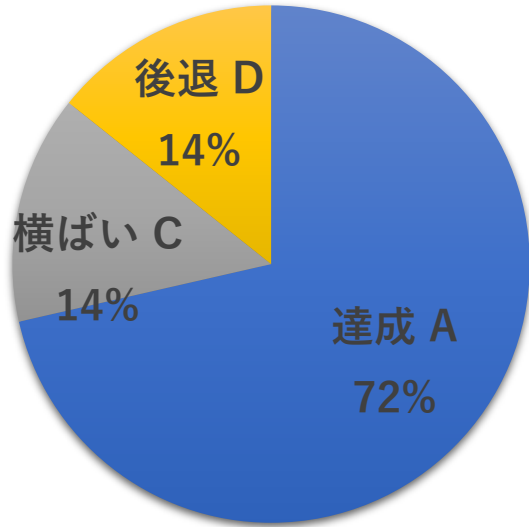
5つの基本目標 KPI進捗状況

将来像 人情と優しさのあふれる島

基本目標5

心豊かで明るい暮らしを
未来に繋げるまちづくり

[市民活動
・行政活動]



施策	施策の展開	総合戦略との重複	成果指標	現況値		R 4 年度実績	R 5 年度実績	R 6 年度実績	R 7 年度実績	R8目標値	評価
1 市民参画と協働による地域づくりの推進	2.外部人材の活用		関係人口※（大学生等）	R 2	17人	160人	270人	263人	326人	250人	A
	3.地域コミュニティ活動の促進	○	地域づくり活動に関わった人数	R 2	4,442人	6,743人	7,111人	6,944人	6,348人	4,600人	A
4 広報・広聴活動の推進	1.多様な情報媒体を活用した広報活動		市ホームページのアクセス件数	R 2	907,382件	1,103,293件	959,984件	975,921件	912,782件	910,000件	A
			SNS※の登録件数	R 2	7,227件	11,901 件	17,838件	25,060件	30,249件	8,000件	A
5 行政運営・財政運営の推進	2.持続可能な財政運営		実質公債費比率※	※ R 1	12.6%	11.9%	12.1%	12.1%	12.1%	18.0%未満	A
3 男女共同参画の推進	3.あらゆる政策・方針決定の場への女性参画の促進		本市の附属機関・懇談会等における女性の登用割合	R 2	26.2%	25.6%	25.9%	26.3%	24.2%	40.0%	D

区分	件数	
	R6	R7
達成 A	5	5
前進 B	1	0
横ばい C	3	1
後退 D	0	1
合計	9	7

評価D事業に対する分析

本市の附属機関・懇談会等における女性の登用割合

➤ 異動等による影響が大きい。今後は充て職以外の選任枠での女性登用を強化し、数値の向上に努める必要がある。